

“みんなが明日も学校へ来たいと思える学校に”

二階堂小学校 学校通信

二小の風



【発行】令和2(2020)年5月12日

【文責】今西 聡

<http://ed.city.tenri.nara.jp/nikaido-el/>

家庭学習の支援として ～今しばらくのご協力を～

平素は本校教育にご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために続いている臨時休業は、5月も継続されることになりました。ゴールデンウィークを含め外出を制限されるなど、子どもたちはストレスの多い日々を過ごしていることでしょう。ご家庭でも様々な工夫をして、子どもたちを支えていただいていることかと思えます。

天理市では、家庭学習を支えるための最低限の取組として、各学校で週に一回学習プリントを配布しています。しかしその内容は、本来授業で教えるべき内容であり、プリントやドリルなどで補えるものなのか、学校再開後にどれだけフォローアップできるか、再開時期とあわせ、学校としても先の見えない状態が続いています。学校としては、少しでも家庭学習の支えとなるよう、学校ホームページの専用ページに動画をアップしていますので、できれば一緒にご覧いただき、必要に応じて子どもたちに助言等をしていただければありがたいです。

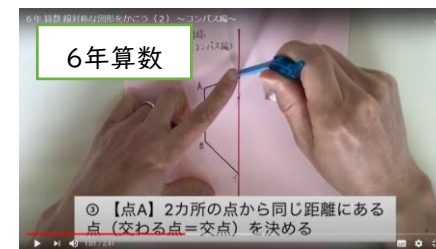
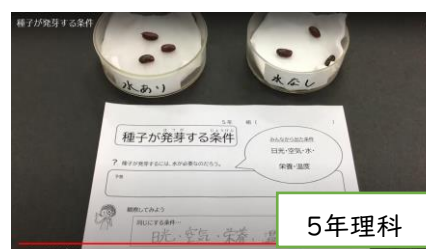
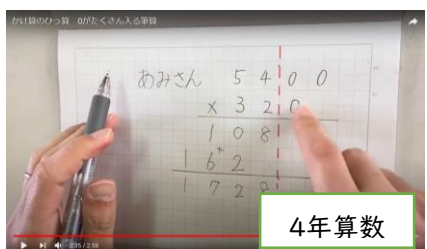
全国的に行われている臨時休業に合わせ、自治体や企業などが、家庭学習の役立つ様々なネット配信を行っています。それらを紹介する文部科学省の「子どもの学び応援サイト」を利用するなど、ご家庭でぜひ、子どもたちの学びを支えていただきますようよろしくお願いいたします。



子どもの学び応援サイト(文部科学省)

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm

専用ページの動画紹介 (各学年が学習プリントを説明する動画を配信しています)



定期健康診断の1学期中の実施見送りについて

新型コロナウイルス感染症対策のため、毎年6月30日までに実施している定期健康診断は、1学期中の実施を見送ることになりました。今後の予定については、決まり次第連絡させていただきます。

5月21日は創立記念日です ～創立133周年～

本校はまもなく創立133周年を迎えます。明治5年の学制発布後、民家や寺院などに設けられた複数の学舎が統合し、明治20(1887)年5月21日、二階堂尋常高等小学校として開校しました。

133年の歩みの中で何度か校名は変わりましたが、昭和29(1954)年に天理市政が始まり、今の校名である「天理市立二階堂小学校」となりました。

創立100周年であった昭和62(1987)年には620名いた全校児童数も、今は270名となりました。様々な歴史をくぐりぬけ、今も新型コロナウイルスによる感染症の流行という未曾有の出来事の最中ではありますが、「みんなが明日も学校へ来たいと思える学校に」なるよう、確かな教育の歩みを続けていきたいです。



大正期の二階建て校舎

新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!

新型コロナウイルスによる感染症が流行しています。実はこのウイルスが怖いのは、「3つの感染症」という顔があることです。知らず知らずのうちにわたしたちもその影響を受けていることをみなさんはご存じですか。

ウイルスがもたらす第1の感染症は「病気そのもの」です。このウイルスは、感染者との接触でうつることがわかっています。感染すると、風邪症状や重症化して肺炎を引き起こすことがあります。

第2の感染症は「不安とおそれ」です。このウイルスは見えません。薬もまだ開発されていません。わからないことが多いため、わたしたちは、強い不安やおそれを感じ、それらにふりまわされてしまうことがあります。

第3の感染症は「嫌悪・偏見・差別」です。不安やおそれは、人間の生存本能を刺激します。そして、ウイルス感染にかかわる人を日常から遠ざけたり差別したりするなど、人と人との信頼関係や社会のつながりが壊されてしまいます。

そこで、第1の感染症を防ぐために、一人一人が衛生行動を徹底しましょう。「手洗い」「咳エチケット」「人混みを避ける」など、ウイルスに立ち向かうための行動を、自分のためだけでなく周りの人のためにもすることが大切です。

次に、第2の感染症を防ぐために、「気づく力」「聴く力」「自分を支える力」を高めることが必要です。不安やおそれはこうした力を弱め、結果として冷静な対応ができなくなることもあります。ウイルスに関する悪い情報ばかりが目に向いていませんか。今の状況を整理し、自他の安全や健康のために、心地よい環境を整えることが大切です。

そして、第3の感染症を防ぐために、「確かな情報」集めましょう。そして、差別的な言動に同調しないようにしましょう。わたしたちの周りには、それぞれの場所で感染を拡大しないために頑張っている人がたくさんいます。「小さな子どもがいる家庭」「高齢者」「治療を受けている人とその家族」「自宅待機している人」「医療従事者」「日常生活を送って社会を支えている人」…。この事態に対応しているすべての人をねぎらい、敬意を払うことが大切です。

このように、新型コロナウイルスは、3つの感染症という顔を持って、わたしたちの生活に影響を及ぼします。このウイルスとの戦いは、長期戦になるかもしれません。みんながそれぞれの立場でできることを行い、みんなが一つになって、この困難を乗り越えましょう。

(参考:日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!」)

《なぜ差別が生まれるのか》

見えない敵(ウイルス)への不安



特定の対象を見える敵と見なして
嫌悪の対象とし、差別して遠ざける
「医療従事者の子は登園しないで」

「××人だ、あぶない!」

「咳をしてるあの人、コロナかも」



つかの間の安心感

でもわたしもいつ言われるかわからない…、不安…。